

「多面的・多角的な道徳授業のあり方」

～より自分ごととして価値を深めることができる道徳の授業～

帯広市立豊成小学校
鈴木 美 保

1 はじめに

本校では、「特別の教科道徳」を見据え、本音で語り合える道徳授業の構築に向け、3年前から道徳の研究に取り組んできた。

2 主題設定の理由

昨年度までの成果として、「道徳の授業パターンが定着してきた。」「本音で話し合える雰囲気生まれてきた。」という点があげられたが、「道徳的实践に結び付いていない。」という課題も見られた。そこで今年度は、昨年度までの研究実践をより深化・発展させるとともに、「より自分ごととしてとらえるための学び合い」の充実に向け、本校としての「多面的な追究」「多角的な追究」の学び合いの場を学習過程に位置付け、より自分ごととして価値を深め、日常生活につながる道徳性の育成を目指している。

3 研究の概要

研究主題

主体的・意欲的に学び、つながり合う心豊かな子どもの育成

～多面的・多角的な追究を通して、より自分ごととしてとらえる豊成の道徳～

仮説

多面的・多角的に追究する学び合いを学習課程に位置付けることで、より自分ごととして価値を深めることができ、日常生活につながる道徳性を養うことができるであろう。

4 仮説検証の手立て

(1) 多面的な追究と多角的な追究

「より自分ごととしてとらえるための学び合い」の充実に向けた研究を深めていくために、「多面的な追究＝資料を読む」「多角的な追究＝当事者の立場に立って考える」場を学習過程に位置付けることとした。

具体的な手立てとして、今年度は、
発問の工夫・発問の精選を行うこととした。
「自分ごととして考えるには、いかに資料から早く離れるべきか。」という議論も行われているが、「他人ごと」である資料を生かしてこそ、「より自分ごと」として、ねらいとする価値をとらえることができると考えている。

資料を多面的（読解・分析）に
読む＝「人ごと」共感的発問

（例）〇〇はどんな気持ち？

↓
当事者の立場に立って価値観や生き
方を多角的に考える＝「自分ごと」
投影的発問、批判的発問

（例）自分だったらどう考えるか？

（例）〇〇（価値）について
どう考えるか？

(2) 子どもの励みになる見取りや評価の取組

本校では、評価の観点を2点設定しており、1時間の授業の中で、観点①を「追究する価値を自分ごととしてとらえる、中心発問の段階」に位置付け、「自分なりの意見をもち多様な考え方ができたか」を観点②を「終末部分ふりかえりの段階」に位置付け1時間の授業を通して、「価値の理解を深め自分ごととしてとらえているか」を評価している。

授業内における補助簿による見取り

観点①多面的・多角的な見方へ
発展しているか

中心発問

観点②価値の理解を、自分自身との
関わりの中で深めているか

終末

(3) 各教科、行事と関連させた全校道徳の取組

今までは年3回の「はあとふる集会にあわせて」3つの内容項目で全校道徳として取り組んできたが、今年度は運動会等の大きな行事に向けても、全校でとりくむこととした。

①今まで...年3回の「はあとふる集会」にあわせて
いじめ防止・夢の実現・命



②各行事にあわせて「運動会」「避難訓練」
「学習発表会」「卒業式」
努力と強い意志・生命の尊さ・よりよい学校生活・感謝

5 今年度の実践から

O5年生 「せいじつに明るい心で」正直、誠実 A- (2)

「見えた答案」(新しい道徳5 東京書籍)

●本時の展開

【本時のねらい】
良い成績をとったのに、自分の不正を反省する「花子」の姿を通して、普段の生活で誠実に行動できない自分の姿を見つめ直し、常に自分に対して誠実に行動しようとする態度を育てる。

	学習の流れと予想される児童の反応	・指導上の工夫 ☆ 評価(評価方法)
導入 5分	1. テーマを確認する。 誠実な人ってどんな人? ◎「うそをつかない」「ずるをしない」「優しい」 今日は「自分に誠実」について考えていきます。	・価値への意識付けを行う。
	2. 多面的な追究によって、資料の内容をとらえる。 返されたテストの答案を見たときの「花子」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 見えてよかった ↔ 見えてモヤモヤ ・だれも気付いていないし ・100点とれたからいい ・自分の力ではない気がする ・これで100点取っても... その他児◎「100点は嬉しいけど、なんかモヤモヤする。」 「後悔していると思う。」	・「花子になったつもりで読む」という、読みの視点を与える。 ・ゆれる花子の気持ちに共感するために、役割演技を行う ＜設定＞ ①見えて良かった ②見えてモヤモヤ ③見ている人 ・途中で役割を交代し、両方の立場を体験する。 ・3つの立場から考えを聞く。 【手立てD】

主人公に自我関与させるための役割演技により、誠実と不誠実の追体験を通して、自分ごととして考えさせる。



多面的な追究

3. 多角的な追究により、価値を自分ごととしてとらえる。

あなたは、花子のように、後ろめたい気持ちになったことはありますか。

① <ある・ない>
「先生が見ていなかったからばれないと思った。」
「間違えたら嫌だから。」「怒られたくないから。」

「自分に誠実」であるよさは何だろう。

② 「すがすがしい」「すっきりする。」
③ 「後からモヤモヤしない。」「人にも誠実にできる。」

4. 学習を振り返る。

今日の「自分に誠実」について、一番心に響いたことは何ですか。

④ 「後で恥ずかしい思いをしないように生活したい。」
「ずるをしない。」「うそをつかない。」

多角的な追究

あなたは、花子のように、後ろめたい気持ちになったことはありますか。

投影的発問により、自分ごととして「誠実」の価値の大切さについて、多角的に考えさせるようにする。

中心発問
「自分に誠実」であるよさは何だろう。

6 北海道版道徳教材「きた ものがたり」を活用した授業実践

箱根 保育士 相模部屋 大鵬幸喜

夢=横綱

夢を実現するために 必要は何か

素直 強い気持ち

誰よりも努力

成功活躍 努力 才能 運

昭和の大横綱 相模部屋入門

未来へつなげる 努力と強い意志

「昭和の大横綱 大鵬幸喜」
希望と勇気、努力と強い意志 A-(5)

中心発問
「夢を実現するために必要なことは何ですか。」

「アイヌ文化を守り 抜く 萱野茂」
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 C-(17)

中心発問
「北海道や帯広で、これからも大切にしていきたい伝統や文化は何ですか。」

アイヌ文化を守り抜く

アイヌ文化の尊重、国や郷土を愛する態度 C-(17)

中心発問
「北海道や帯広で、これからも大切にしていきたい伝統や文化は何ですか。」

アイヌ文化の歴史

アイヌ文化の尊重、国や郷土を愛する態度 C-(17)

農業王国・十勝の 依田勉三

依田勉三の生き方

農業王国・十勝の 依田勉三

依田勉三の生き方

農業王国・十勝の 依田勉三

「農業王国・十勝の 第一歩を築いた先 駆者 依田勉三」
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 C-(17)

中心発問
「あなたなら勉三のような生き方ができますか。」